

# 1 食肉の流通

## (1) と畜場の状況

ア 平成20年の全国のと畜場数は199場で、前年に比べ4場減少した。

と畜場の種類別と畜場数及び構成割合をみると、食肉卸売市場併設と畜場が27場で13.6%、食肉センターが73場で36.7%、その他が99場で49.7%となっている。

(表1)

表1 種類別と畜場数の推移(全国)

単位 { と畜場数：場  
比 率：%

区 分		計	食肉卸売市場 併設と畜場	食 肉 セ ン タ ー	そ の 他
実 数	平.18	205	27	72	106
	19	203	27	74	102
	20	199	27	73	99
構 成 比	平.18	100.0	13.2	35.1	51.7
	19	100.0	13.3	36.5	50.2
	20	100.0	13.6	36.7	49.7

イ 豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数をみると、豚を処理したと畜場数は170場、と畜頭数は1,619万2千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は66場、と畜頭数は1,291万6千頭でそれぞれ38.8%、79.8%を占めている。

また、成牛を処理したと畜場数は150場、と畜頭数は122万7千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は45場、と畜頭数は82万8千頭でそれぞれ30.0%、67.5%を占めている。(表2)

表2 と畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数の推移(全国)

単位 { と畜場数：場  
と畜頭数：千頭  
構 成 比：%

区 分			豚					成 牛				
			計	2万頭 未 満	2～5	5～10	10万頭 以 上	計	1,000 頭未満	1,000～ 5,000	5,000～ 1万	1万頭 以 上
と 畜 場 数	実 数	平.18	173	48	32	29	64	156	29	38	49	40
		19	173	50	28	30	65	154	32	36	44	42
		20	170	46	31	27	66	150	29	36	40	45
と 畜 頭 数	構 成 比	平.18	100.0	27.7	18.5	16.8	37.0	100.0	18.6	24.4	31.4	25.6
		19	100.0	28.9	16.2	17.3	37.6	100.0	20.8	23.4	28.6	27.3
		20	100.0	27.1	18.2	15.9	38.8	100.0	19.3	24.0	26.7	30.0
と 畜 頭 数	実 数	平.18	16 210	204	1 154	2 170	12 682	1 209	5	94	348	762
		19	16 268	228	1 000	2 229	12 811	1 199	9	97	315	778
		20	16 192	189	1 087	2 000	12 916	1 227	8	103	288	828
と 畜 頭 数	構 成 比	平.18	100.0	1.3	7.1	13.4	78.2	100.0	0.4	7.8	28.8	63.0
		19	100.0	1.4	6.1	13.7	78.7	100.0	0.7	8.1	26.2	64.9
		20	100.0	1.2	6.7	12.4	79.8	100.0	0.6	8.4	23.5	67.5

注：1 当該畜種の入場のあったと畜場のみの集計値である。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位。）より算出している。（以下、各表において同じ。）

3 割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである。（以下、各表において同じ。）

(2) 肉豚の概要

ア 豚の出荷状況

(7) 豚の出荷（と畜）頭数は1,619万2千頭で、前年に比べ0.5%減少した。（図1、表3）

図1 豚出荷（と畜）頭数の推移（全国）

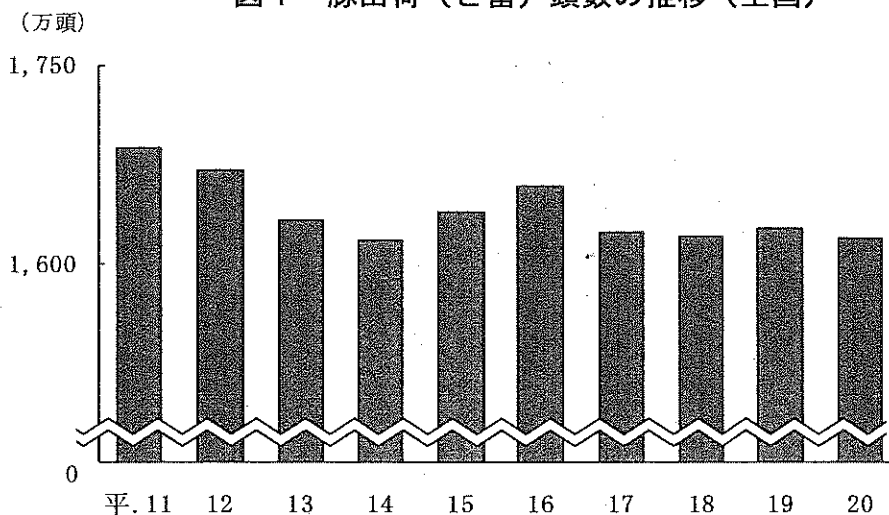


表3 豚出荷（と畜）頭数の推移（全国）

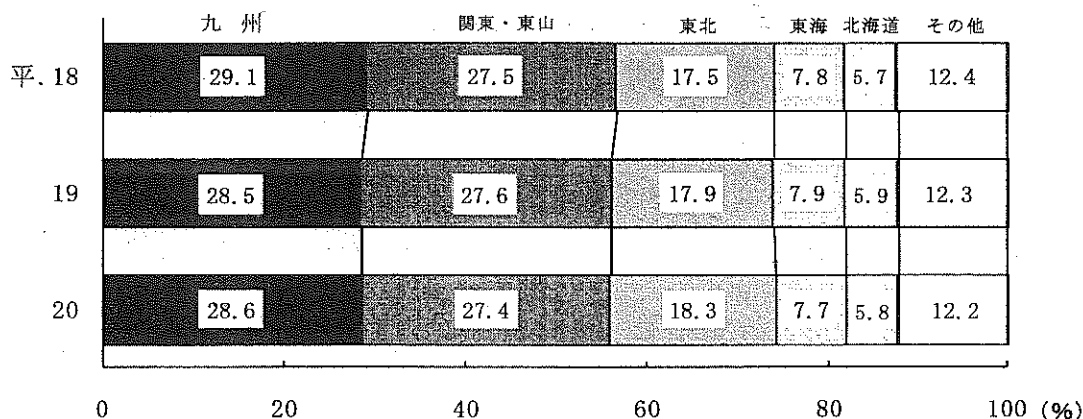
単位 { 実数：千頭  
比率：%

年次	平.11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
実数	16 872	16 717	16 329	16 183	16 396	16 596	16 243	16 210	16 268	16 192
対前年比	98.8	99.1	97.7	99.1	101.3	101.2	97.9	99.8	100.4	99.5

注：対前年比は、原数（Ⅱ統計表における表彰単位。）より算出している。（以下、各表において同じ。）

(イ) 豚の出荷頭数の全国農業地域別割合をみると、鹿児島、宮崎を中心とする九州が28.6%、青森、岩手を中心とする東北が18.3%で前年に比べそれぞれ0.1ポイント、0.4ポイント上昇したが、茨城、群馬を中心とする関東・東山が27.4%で前年に比べ0.2ポイント低下した。この3地域を合わせた割合は、全国の74.3%を占めている。（図2）

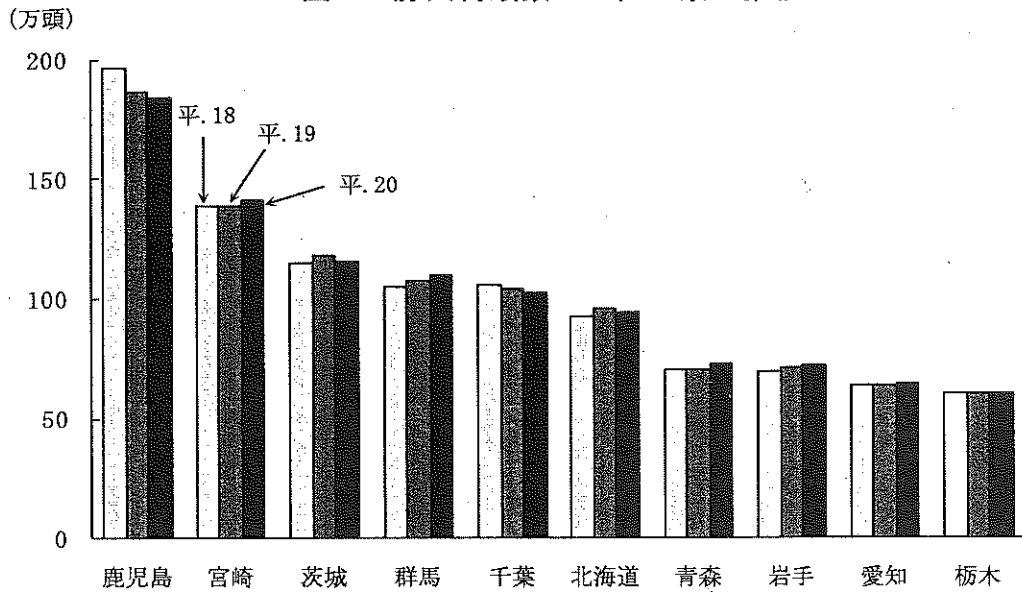
図2 豚出荷頭数の全国農業地域別割合の推移



注：割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである。（以下、各図において同じ。）

(ウ) 豚の主産県の出荷頭数をみると、前年に比べ鹿児島、茨城、千葉、北海道は減少したものの、宮崎、群馬、青森、岩手、愛知、栃木は増加した。  
また、この上位10県で全国出荷頭数の62.8%を占めている。(図3)

図3 豚出荷頭数の上位10県の推移



イ 食肉卸売市場における豚肉の状況

(7) 取引状況

食肉卸売市場(中央卸売市場10、指定市場18)における豚肉の取引成立頭数は214万2千頭で、前年に比べ1.9%減少した。市場別では、中央卸売市場が90万3千頭、指定市場が123万8千頭で前年に比べそれぞれ1.6%、2.1%減少した。

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.2%で、前年に比べ0.2ポイント低下した。(表4・5)

表4 食肉卸売市場の豚肉の取引成立頭数の推移

区分		計	中央卸売市場	指定市場
実数	平. 18	2 143	892	1 251
	19	2 183	918	1 265
	20	2 142	903	1 238
対前年比	平. 18	98.3	98.4	98.3
	19	101.9	102.9	101.1
	20	98.1	98.4	97.9

単位 { 頭数：千頭  
比率：%

表5 豚肉の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の推移

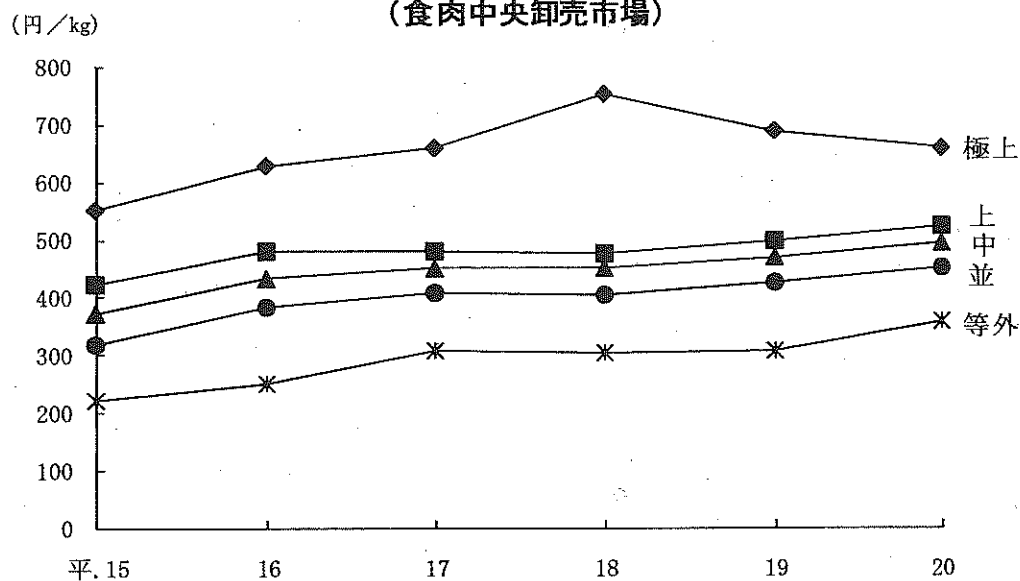
単位 { 頭数：千頭  
割合：%

年次	全国と畜頭数		割合
		食肉卸売市場	
平. 18	16 210	2 143	13.2
19	16 268	2 183	13.4
20	16 192	2 142	13.2

(イ) 卸売価格の動向（1kg当たり平均価格）

食肉中央卸売市場における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が656円、「上」が522円、「中」が493円、「並」が449円、「等外」が356円で、「極上」は前年に比べ4.5%低下したものの、「上」、「中」、「並」及び「等外」は前年に比べそれぞれ4.8%、5.1%、5.9%、16.7%上昇した。（図4）

図4 豚肉の規格別卸売価格の推移  
（食肉中央卸売市場）



(3) 肉牛の概要

ア 成牛の出荷状況

(ア) 成牛の出荷(と畜)頭数は122万7千頭で、前年に比べ2.3%増加した。

このうち、和牛は46万7千頭、乳牛は73万7千頭、その他の牛は2万2千頭で、前年に比べそれぞれ4.3%、1.1%、1.0%増加した。

成牛の種類別出荷頭数割合をみると、和牛が38.1%で前年に比べ0.8ポイントの上昇、乳牛は60.1%で前年に比べ0.7ポイント低下した。(図5、表6)

図5 成牛の種類別出荷(と畜)頭数の推移(全国)

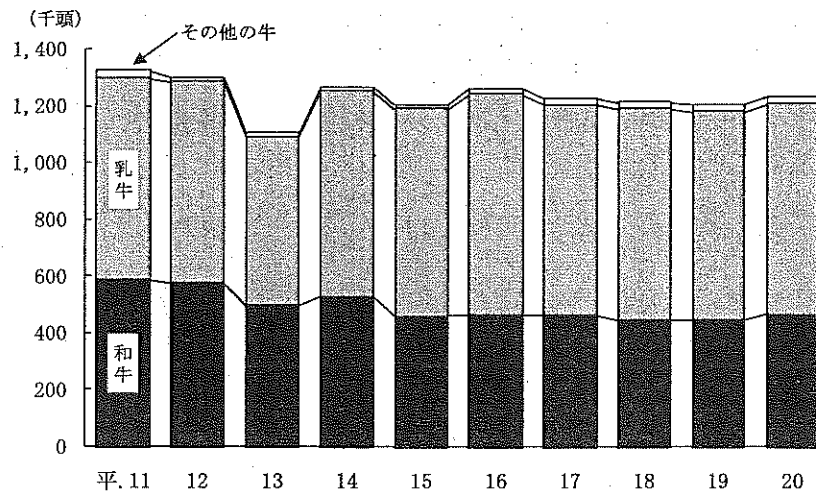


表6 成牛の種類別出荷(と畜)頭数の推移(全国)

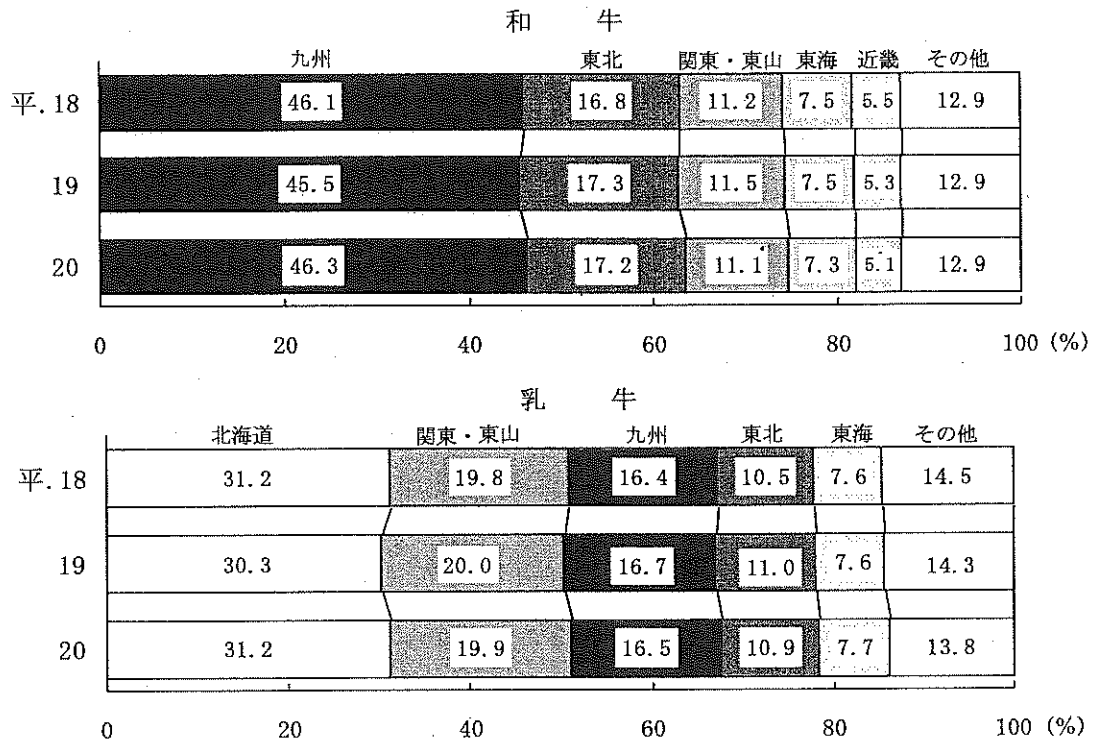
単位 { 実数：千頭  
比率：%

年次		平.11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
実数	成牛計	1 322	1 297	1 103	1 263	1 202	1 256	1 221	1 209	1 199	1 227
	和牛	589	577	496	527	461	464	463	449	448	467
	乳牛	708	705	595	722	726	773	739	741	729	737
	その他の牛	25	15	13	14	14	18	19	19	22	22
対前年比	成牛計	100.9	98.1	85.1	114.4	95.2	104.5	97.2	99.0	99.2	102.3
	和牛	98.7	98.0	85.9	106.3	87.5	100.6	99.7	97.1	99.6	104.3
	乳牛	102.2	99.6	84.3	121.4	100.6	106.5	95.6	100.2	98.5	101.1
	その他の牛	117.2	59.3	86.2	106.1	104.2	129.1	102.5	102.4	114.6	101.0
構成比	成牛計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	和牛	44.5	44.5	44.9	41.7	38.4	37.0	37.9	37.2	37.3	38.1
	乳牛	53.6	54.4	53.9	57.2	60.4	61.6	60.5	61.2	60.8	60.1
	その他の牛	1.9	1.2	1.2	1.1	1.2	1.5	1.5	1.6	1.8	1.8

(イ) 成牛の種類別出荷頭数の全国農業地域別割合をみると、和牛は、鹿児島、宮崎を中心とする九州が46.3%で前年に比べ0.8ポイント上昇し、宮城、岩手を中心とする東北が17.2%、栃木、茨城を中心とする関東・東山が11.1%で前年に比べそれぞれ0.1ポイント、0.4ポイント低下した。この3地域を合わせた割合は全国の74.6%を占めている。

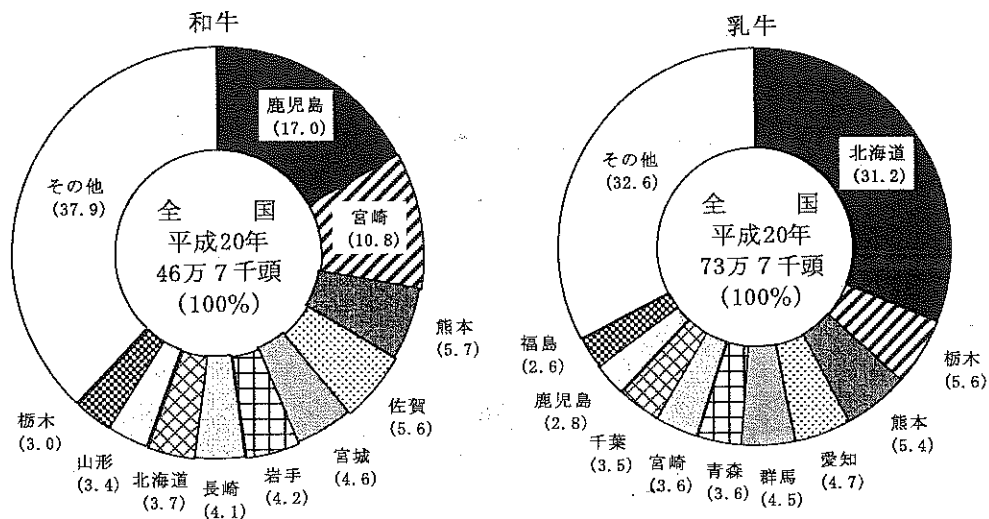
また、乳牛は、北海道が31.2%で前年に比べ0.9ポイント上昇し、栃木、群馬を中心とする関東・東山が19.9%、熊本、宮崎を中心とする九州が16.5%で前年に比べそれぞれ0.1ポイント、0.2ポイント低下した。この3地域を合わせた割合は全国の67.6%を占めている。(図6)

図6 成牛の種類別出荷頭数の全国農業地域別割合



(ウ) 成牛の種類別出荷頭数の都道府県別割合をみると、和牛は、鹿児島が17.0%と最も高く、次いで、宮崎が10.8%、熊本が5.7%となっている。  
また、乳牛は、北海道が31.2%と最も高く、次いで、栃木が5.6%、熊本が5.4%となっている。(図7)

図7 成牛の種類別出荷頭数の都道府県別割合



## イ 食肉卸売市場における牛肉の状況

### (7) 取引状況

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は42万5千頭で、前年に比べ1.3%増加した。市場別では、中央卸売市場は31万5千頭、指定市場は11万頭で、前年に比べそれぞれ1.1%、1.9%増加した。

畜種別では、和牛は19万1千頭、乳牛は22万9千頭で、前年に比べそれぞれ1.3%、1.2%増加した。

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は34.6%で、前年に比べ0.4ポイント低下した。（表7・8）

表7 食肉卸売市場の成牛の取引成立頭数の推移

区 分	計	市 場 別					畜 種 別	単 位 { 頭数：千頭 比率：%		
		中央卸売市場		指定市場		和牛			乳牛	その他の牛
		中央卸売市場	指定市場	中央卸売市場	指定市場					
実 数	平. 18	417	307	109	189	223	4			
	19	419	312	108	188	226	5			
	20	425	315	110	191	229	5			
対 前 年 比	平. 18	98.2	98.1	98.5	97.9	98.7	91.0			
	19	100.6	101.3	98.5	99.4	101.2	119.4			
	20	101.3	101.1	101.9	101.3	101.2	104.6			

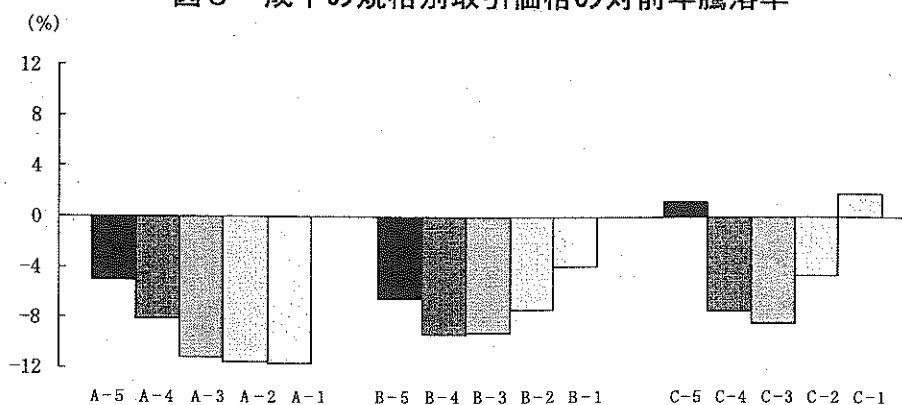
表8 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の推移

年 次	全国と畜頭数		割 合	単 位 { 頭数：千頭 割合：%
	全国と畜頭数	食肉卸売市場		
平. 18	1 209	417	34.5	
19	1 199	419	35.0	
20	1 227	425	34.6	

### (4) 卸売価格の動向

食肉卸売市場における牛肉の規格別卸売価格を対前年騰落率で見ると、「C-5」及び「C-1」規格は前年を上回ったものの、その他の規格は前年を下回った。（図8）

図8 成牛の規格別取引価格の対前年騰落率



## 2 鶏卵の流通

### (1) 鶏卵の生産量

平成20年の鶏卵生産量は255万4千tで、前年に比べ1.2%減少した。

これを都道府県別割合で見ると、茨城、千葉がともに7.3%と最も高く、次いで、鹿児島が6.4%となっている。(図9、表9)

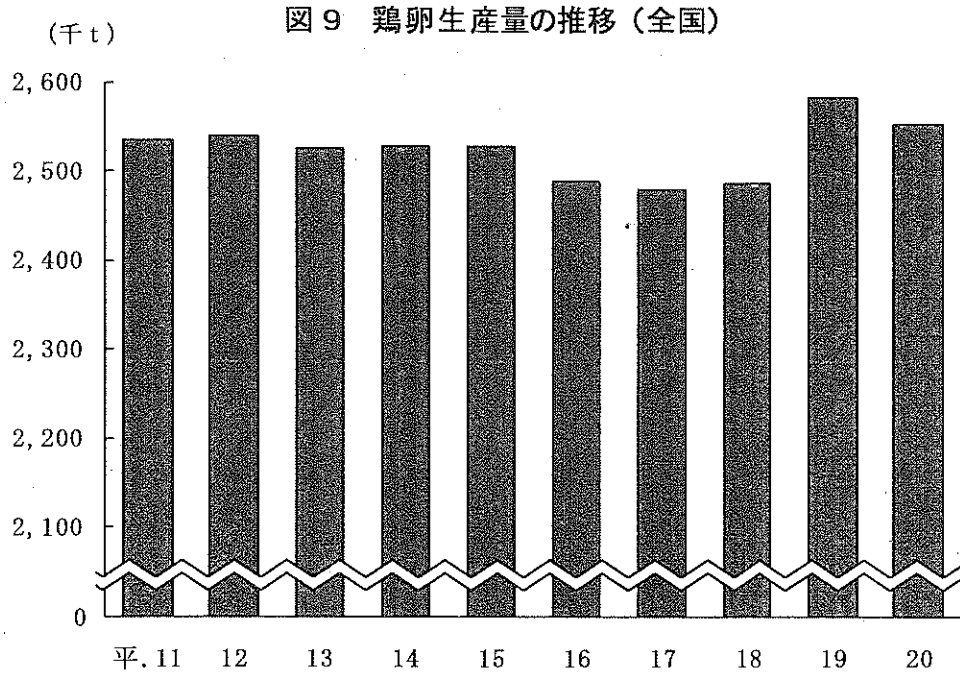


表9 鶏卵生産量(全国及び上位10都道府県)

単位 { 生産量: 千t  
比率: %

区 分	実 数			対 前 年 比			平. 20 構成比
	平. 18	19	20	平. 18	19	20	
全 国	2 488	2 583	2 554	100.3	103.8	98.8	100.0
茨 城	122	182	187	70.6	149.4	102.8	7.3
千 葉	159	185	186	99.6	116.4	100.7	7.3
鹿 児 島	168	167	164	103.1	99.3	98.6	6.4
愛 知	134	137	136	99.8	102.9	99.4	5.3
岡 山	108	114	118	102.8	105.4	103.6	4.6
広 島	116	116	118	101.3	100.4	101.3	4.6
北 海 道	107	111	108	101.3	103.3	97.5	4.2
新 潟	96	100	98	107.2	103.7	98.4	3.8
青 森	89	90	88	102.1	100.7	97.3	3.4
宮 城	77	78	82	111.1	101.7	104.5	3.2
そ の 他	1 312	1 303	1 268	102.4	99.4	97.3	49.7



(2) 鶏卵の出荷状況

鶏卵出荷量は、247万6千tで、前年に比べ1.1%減少した。

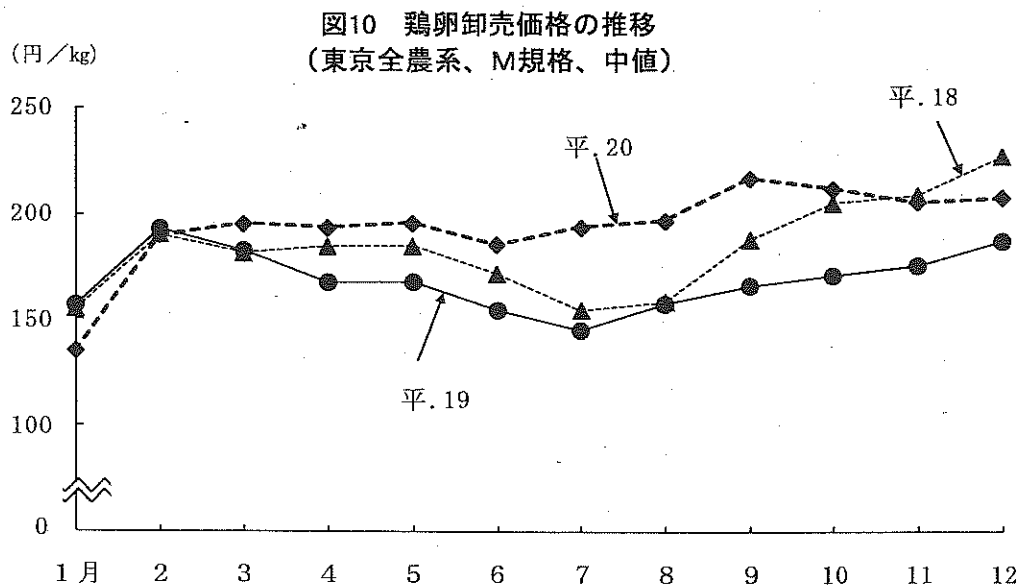
これを全国農業地域別割合でみると、千葉、茨城を中心とする関東・東山が最も高く、出荷量の24.3%を占めている。次いで、鹿児島、福岡を中心とする九州が14.7%となっている。(表10)

表10 鶏卵の全国農業地域別出荷量

区 分	実 数			対 前 年 比			平. 20 構成比
	平. 18	19	20	平. 18	19	20	
全 国	2 411	2 504	2 476	99.9	103.9	98.9	100.0
北 海 道	105	109	106	103.4	103.2	97.4	4.3
東 北	342	348	346	106.6	101.7	99.6	14.0
北 陸	144	148	145	107.2	103.0	97.9	5.9
関 東・東 山	532	608	602	91.5	114.3	99.0	24.3
東 海	339	343	335	105.2	101.1	97.6	13.5
近 畿	130	131	131	98.4	100.9	100.3	5.3
中 国	290	294	298	105.0	101.3	101.4	12.0
四 国	129	130	129	94.8	100.8	99.2	5.2
九 州	378	372	363	98.1	98.4	97.7	14.7
沖 縄	22	22	21	98.1	99.5	97.2	0.8

単位 { 出荷量：千t  
比率：%

(参考) 卸売価格 (鶏卵市況情報)



### 3 食鳥の流通

#### (1) 食鳥の処理量

食鳥処理羽数は7億3,468万羽、処理重量は198万5,246 tで、前年に比べそれぞれ0.9%、1.7%増加した。(表11)

表11 食鳥処理量及び製品生産量(全国)(平成20年)

区 分	処 理 量 ( 生 体 )				製 品 生 産 量						
	実 数		対 前 年 比		実 数			対 前 年 比			
	羽 数	重 量	羽 数	重 量	計	と 体・ 中 ぬ き	解 体 品	計	と 体・ 中 ぬ き	解 体 品	
計	734 675	1 985 246	100.9	101.7	1 196 260	97 003	1 099 257	103.6	100.9	103.8	
肉 用 若 鶏	629 766	1 787 278	101.1	101.9	1 094 205	59 823	1 034 382	103.9	95.4	104.4	
その他の肉用鶏	9 552	29 434	111.4	111.5	17 187	4 646	12 541	109.4	107.1	110.3	
廃 鶏	93 090	163 363	99.1	98.9	82 257	31 837	50 420	99.4	112.3	92.6	
その他の食鳥	2 267	5 171	83.1	91.3	2 611	697	1 914	94.6	94.3	94.7	

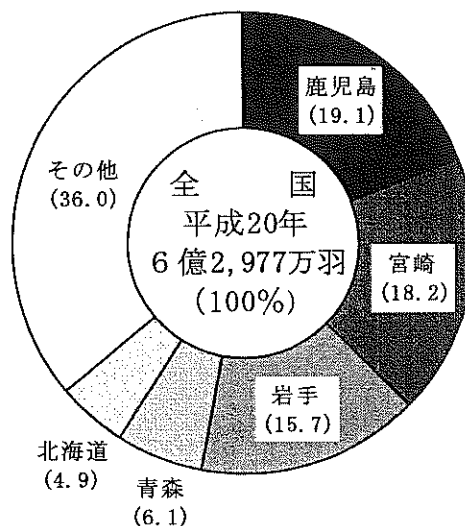
単位 { 羽 数: 千羽  
重量・製品生産量: t  
比 率: %

#### ア 肉用若鶏

(ア) 全国の処理羽数は6億2,977万羽、処理重量は178万7,278 tで、前年に比べそれぞれ1.1%、1.9%増加した。(表11)

(イ) 都道府県別の出荷羽数割合をみると、鹿児島が19.1%と最も高く、次いで宮崎が18.2%、岩手が15.7%の順となっており、この3県で全国の53.0%を占めている。(図11)

図11 肉用若鶏の都道府県別出荷羽数割合

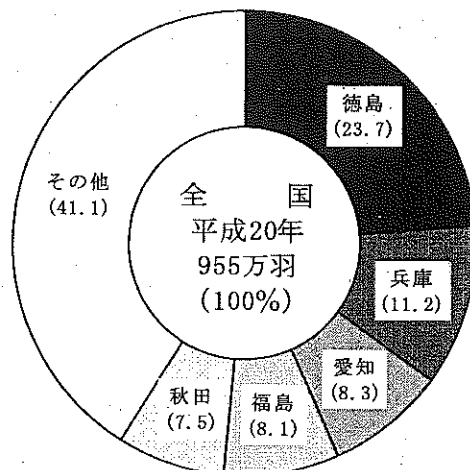


## イ その他の肉用鶏（地鶏等）

(7) 全国の処理羽数は955万羽、処理重量は2万9,434 tで、前年に比べそれぞれ11.4%、11.5%増加した。（表11）

(i) 都道府県別の出荷羽数割合をみると、徳島が23.7%と最も高く、次いで兵庫が11.2%、愛知が8.3%、福島が8.1%、秋田が7.5%となっており、この5県で全国の58.8%を占めている。（図12）

図12 その他の肉用鶏（地鶏等）の都道府県別出荷羽数割合



## ウ 廃鶏

全国の処理羽数は9,309万羽、処理重量は16万3,363 tで前年に比べそれぞれ0.9%、1.1%減少した。（表11）

## エ その他の食鳥

全国の処理羽数は227万羽、処理重量は5,171 tで前年に比べそれぞれ16.9%、8.7%減少した。（表11）

### (2) 製品生産量（と体・中ぬき及び解体品）

食鳥処理場における食鳥の製品生産量（と体・中ぬき及び解体品）は119万6,260 tで、前年に比べ3.6%増加した。

このうち、大部分を占める肉用若鶏をみると、製品生産量は109万4,205 tで、前年に比べ3.9%増加した。

これを処理別にみると、と体・中ぬきは5万9,823 tで、前年に比べ4.6%減少し、解体品は103万4,382 tで、前年に比べ4.4%増加した。（表11）

(3) 肉用若鶏の飼養（出荷）戸数及び飼養（出荷）羽数（平成21年2月1日現在）

ア 平成21年2月1日現在の肉用若鶏の飼養戸数は2,392戸で、前年に比べ2.6%減少したものの、飼養羽数は1億714万羽で、前年に比べ4.0%増加した。

また、1戸当たり飼養羽数は4万4,800羽で前年に比べ6.9%増加した。（表12）

表12 肉用若鶏の飼養戸数及び飼養羽数及び1戸当たりの飼養羽数  
（全国）（2月1日現在）

単位 { 戸数：戸  
羽数：千羽  
比率：%

区 分		飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり飼養羽数
実 数	平 .19	2 583	105 287	40.8
	20	2 456	102 987	41.9
	21	2 392	107 141	44.8
前 年 対 比	平 .19	99.7	101.5	102.0
	20	95.1	97.8	102.7
	21	97.4	104.0	106.9

イ 年間出荷戸数は2,925戸で前年に比べ2.2%減少し、年間出荷羽数は6億2,977万羽で前年に比べ1.1%増加した。

これを年間出荷羽数規模別にみると、出荷戸数及び出荷羽数は20万羽以上の各階層で増加した。

また、1戸当たり出荷羽数は21万5,300羽で、前年に比べ3.4%増加した。（表13）

表13 肉用若鶏の年間出荷羽数規模別出荷戸数及び出荷羽数の推移（全国）

単位 { 戸数：戸  
羽数：千羽  
比率：%

区 分		計	5万羽未満	5～10	10～20	20～30	30～50	50万羽以上	
出 荷 戸 数	実 数	平. 18	3 065	671	542	1 001	432	234	185
		19	2 991	617	519	970	438	253	194
		20	2 925	556	506	944	452	264	203
	前 年 対 比	平. 18	98.2	21.9	17.7	32.7	14.1	7.6	6.0
		19	97.6	20.6	17.4	32.4	14.6	8.5	6.5
		20	97.8	90.1	97.5	97.3	103.2	104.3	104.6
出 荷 羽 数	実 数	平. 18	621 820	16 732	42 294	148 567	110 175	92 582	211 470
		19	622 834	15 160	39 775	144 236	109 636	96 410	217 617
		20	629 766	14 980	38 251	140 784	111 079	99 236	225 436
	前 年 対 比	平. 18	102.5	98.6	100.1	95.7	110.0	95.7	108.2
		19	100.2	90.6	94.0	97.1	99.5	104.1	102.9
		20	101.1	98.8	96.2	97.6	101.3	102.9	103.6
1 戸 当 た り 出 荷 羽 数	実 数	平. 18	202.9	24.9	78.0	148.4	255.0	395.6	1 143.1
		19	208.2	24.6	76.6	148.7	250.3	381.1	1 121.7
		20	215.3	26.9	75.6	149.1	245.8	375.9	1 110.5
	前 年 対 比	平. 18	104.3	98.8	105.5	100.3	102.8	103.1	99.4
		19	102.6	98.8	98.2	100.2	98.2	96.3	98.1
		20	103.4	109.3	98.7	100.3	98.2	98.6	99.0

#### (4) 食鳥処理場数

食鳥を処理した全国の食鳥処理場数は611場で、前年に比べ2.7%減少した。  
また、1処理場当たり処理重量は3,249 tで前年に比べ4.5%増加した。(表14)

表14 食鳥処理場数及び1処理場当たり処理重量(全国)

区 分			1) 食鳥処理場	食 鳥 の 種 類				
				肉用若鶏	その他の 肉用鶏	廃 鶏	その 他 の 食	
処 理 場 数	実 数	平.	18	633	185	174	313	94
		19	628	177	183	306	90	
		20	611	177	187	298	87	
	対 前 年 比	平.	18	98.4	98.4	93.5	97.5	97.9
		19	99.2	95.7	105.2	97.8	95.7	
		20	97.3	100.0	102.2	97.4	96.7	
1 処 理 場 当 た り 処 理 重 量	実 数	平.	18	3 061	9 461	154	494	59
		19	3 108	9 912	144	540	63	
		20	3 249	10 098	157	548	59	
	対 前 年 比	平.	18	104.1	104.5	111.6	100.8	101.7
		19	101.5	104.8	93.5	109.3	106.8	
		20	104.5	101.9	109.0	101.5	93.7	

単位 { 処理場数:場  
処理重量:t  
比率:%

注: 1)は食鳥を処理した実処理場数であり、1処理場で複数の処理を行っている場合があることから、食鳥の種類の数とは一致しない。

#### (参考) 卸売価格(食鳥市況情報)

図13 プロイラー卸売価格  
(東京、中値、もも肉)の推移

